

2022-12\_LDK

# Brics設計屋<sup>®</sup>

セットアップマニュアル

TESMIC SYSTEMS

## 目次

準備とご確認 .....	1
アプリケーションのインストール .....	2
テスミックシステムズ製品について .....	10
ご注意事項と仕様 .....	12
ネットワークライセンスのセットアップ .....	16
ドライバのインストールと USB キーの接続 .....	16
クライアント端末の設定 .....	18
ライセンスの管理 .....	19

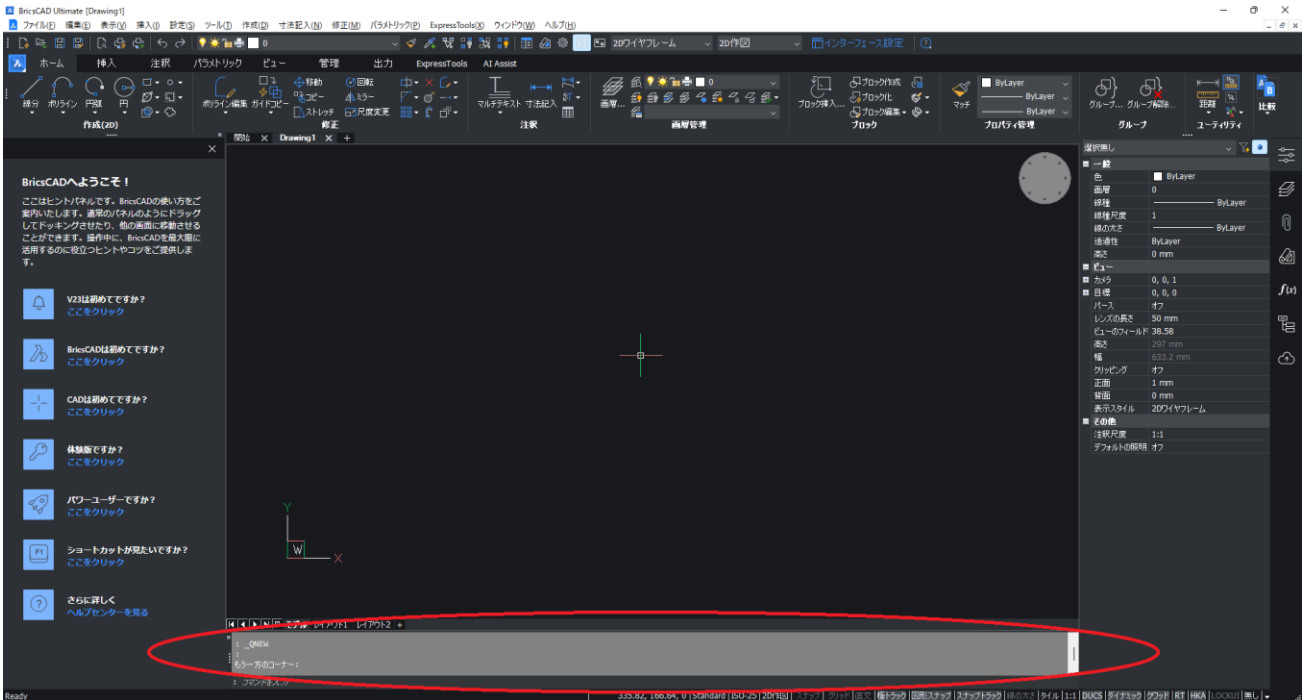
# 準備とご確認

## ■ BricsCAD のコマンドライン

BricsCAD をインストールした直後は、コマンドラインがフローティング（画面下部にドッキングされていない状態）となり、Brics 設計屋が正しく動作しません。

Brics 設計屋のインストールを行う前に、以下のようにコマンドラインをドッキングして下さい。

- ・コマンドラインの端（点々部）をマウスでドラッグし、画面下部に移動、ドッキングします。



## ■ OS のログオンユーザ

Brics 設計屋のインストールは必ず管理者でログオンし作業を行って下さい。

また、以下へのアクセス権があることをご確認下さい。

- ・インストールフォルダ
- ・Windows のシステムフォルダ
- ・システムレジストリ

## アプリケーションのインストール

### ■ <重要>BricsCAD の起動と終了

設計屋のインストール前に、BricsCAD を「2D 作図」で起動、終了して下さい。

旧バージョンがインストールされている PC の場合、設定移行のダイアログが表示されますが、BricsCAD の設定は移行しないでください。

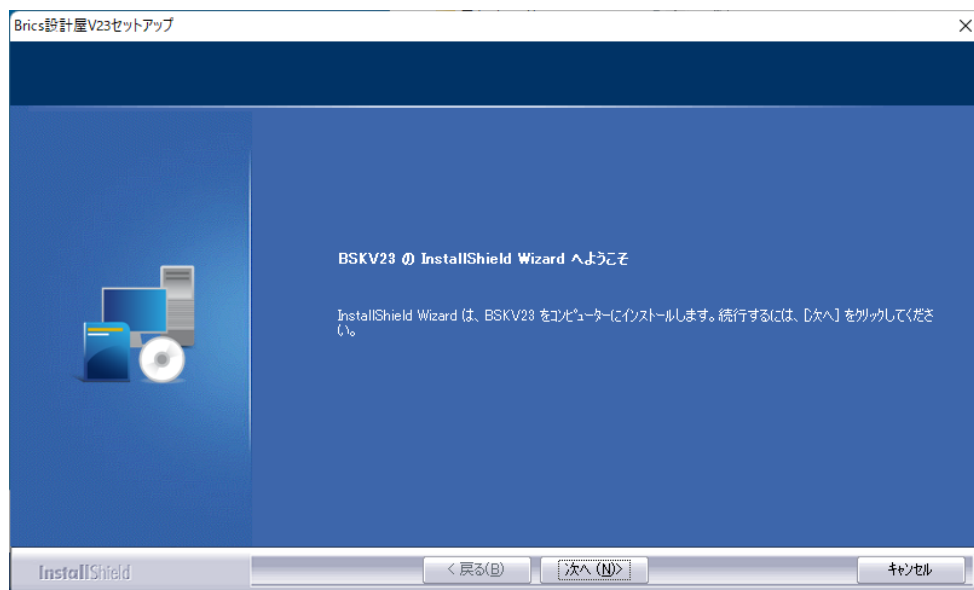
移行してしまった場合は、設計屋インストール前に以下の作業を行ってください。

- ① CAD を終了します。
- ② スタートメニュー「Bricsys」より新しいバージョンの「ユーザープロファイル管理」を実行します。
- ③ 「BskStd」以外のプロファイルを選択し「カレントをセット」をクリックします。
- ④ プロファイル名「BskStd」を選択し「削除」をクリックします。
- ⑤ 「OK」をクリックし「ユーザープロファイル管理」を終了します。
- ⑥ BricsCAD を起動、終了します。

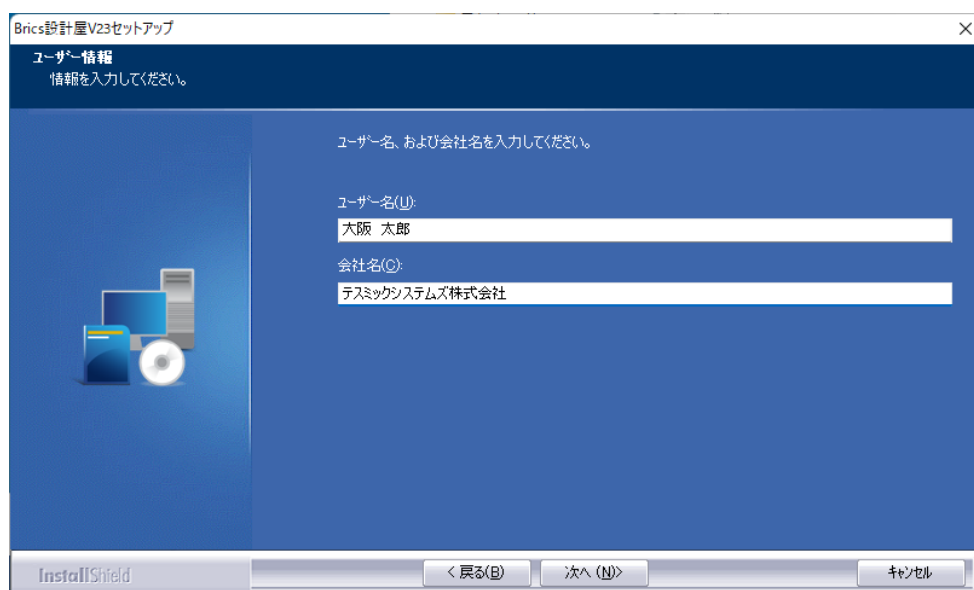
### ■ 設計屋のインストール

① CD をドライブにセットし、ドライブの自動再生にて setup. exe を実行します。  
自動再生が無効な場合は CD 直下の「setup. exe」を管理者として実行して下さい。

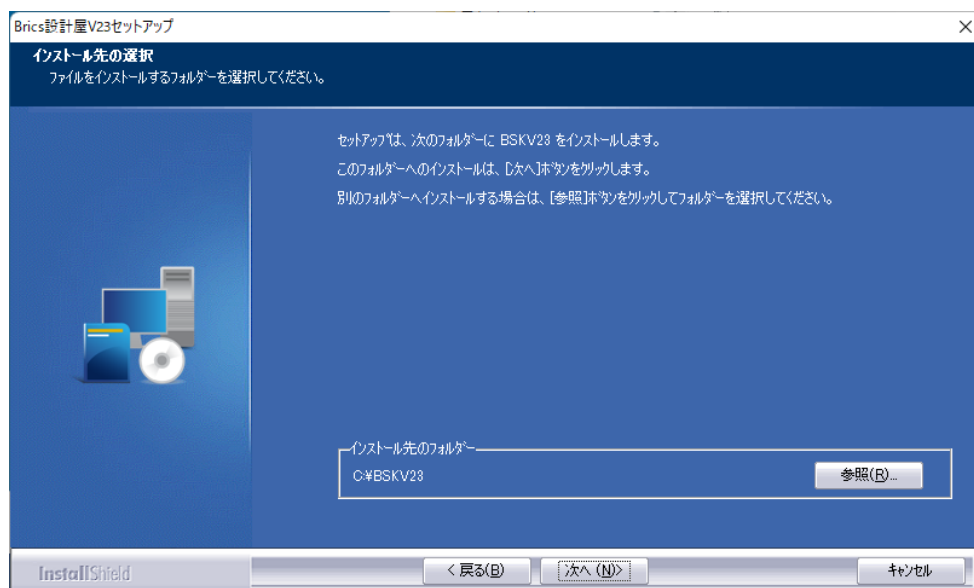
② 「セットアップへようこそ」ダイアログボックスが表示されます。  
「次へ」をクリックします。



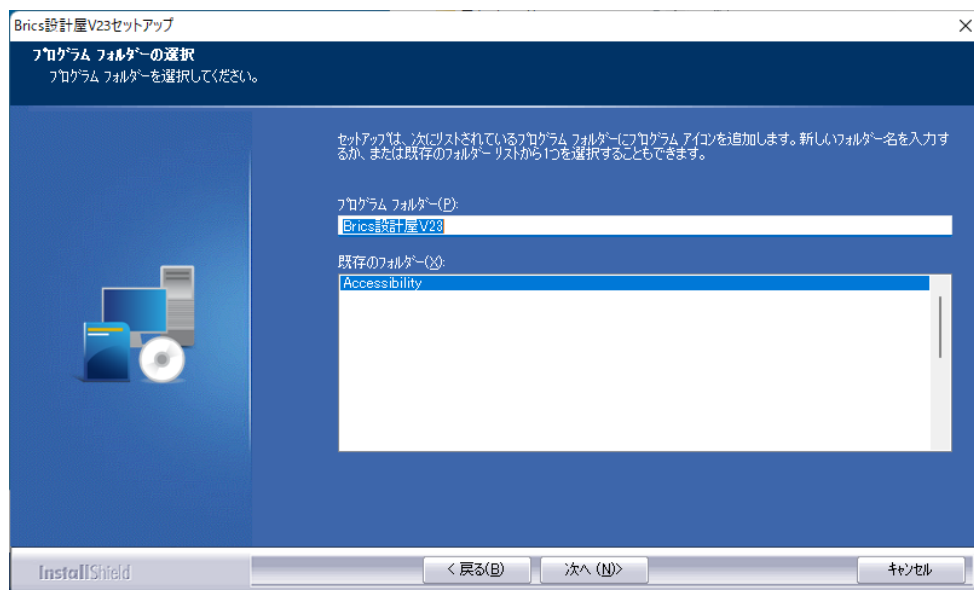
- ③ 「ユーザ情報」 ダイアログボックスが表示されます。  
各項目を入力し「次へ」をクリックします。



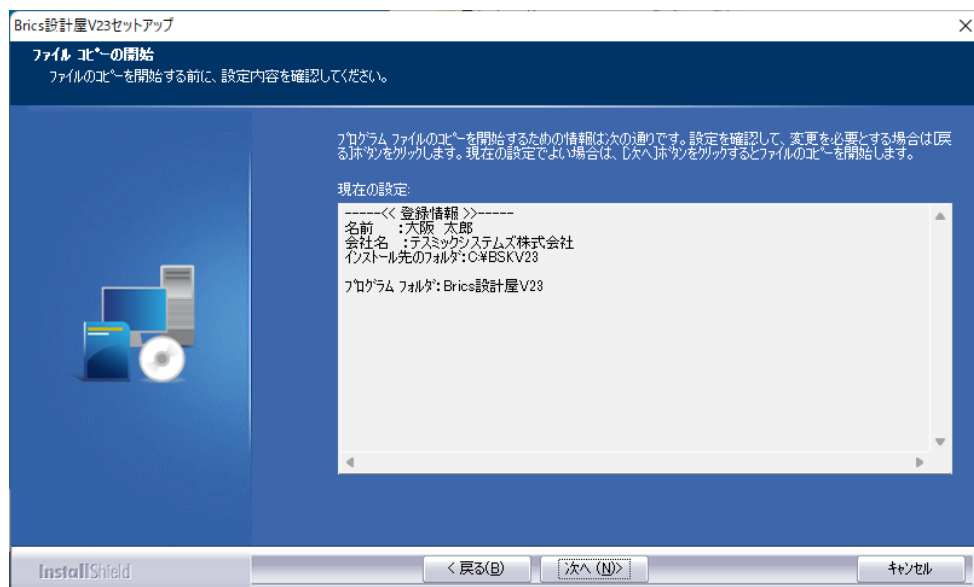
- ④ 「インストール先の選択」 ダイアログボックスが表示されます。  
インストール先を確認、もしくは選択し「次へ」をクリックします。



- ⑤「プログラムフォルダの選択」ダイアログボックスが表示されます。  
「次へ」をクリックします。



- ⑥「ファイルコピーの開始」ダイアログボックスが表示されます。  
「次へ」をクリックします。



- ⑦ 「InsgallShield Wizardの完了」ダイアログボックスが表示されます。  
「完了」をクリックします。



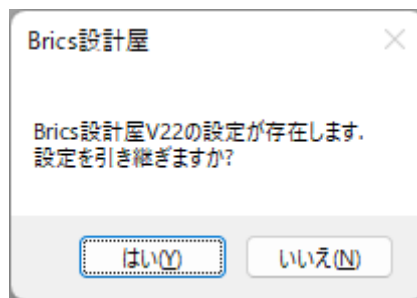
## ■ USB キーの接続と製品の認証

USB キーはハブなどを使用せず、直接コンピュータに接続して下さい。  
体験版には USB キーは付属していませんので本作業は不要です。  
ネットワークライセンスでは本作業は不要です。

①USB キー（ dongle ）を接続します。

②設計屋を起動します。

旧バージョンの設計屋が同じコンピュータにインストールされている場合は、設定の移行ダイアログボックスが表示されます。移行する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」をクリックします。



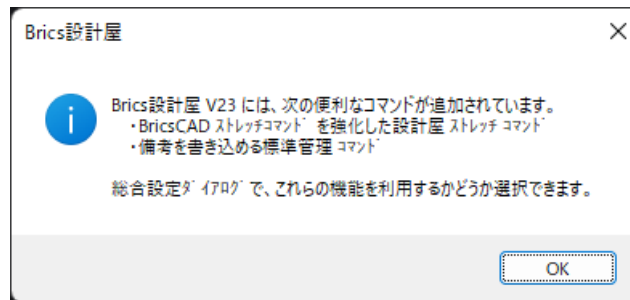
③「オーソライゼーション」ダイアログボックスが表示されます。





④シリアル番号を確認し「後で行う」をクリックします。

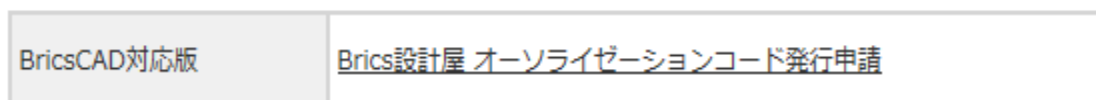
試用版として設計屋が起動し、機能紹介を「OK」、総合設定を「更新」にて閉じ、設計屋アプリケーションを終了します。



⑤弊社ホームページにアクセスして頂き、ページ左下「製品認証申請」を選択します。

URL : <https://www.tesmic.co.jp>

⑥「Brics 設計屋 オーソライゼーションコード発行申請」を選択します。



⑦アクセス認証画面に以下ユーザー名とパスワードを入力し「OK」をクリックします。

ユーザー名 : tesmic-acode

パスワード : tesmicuser



⑧オーソライゼーションコード申請フォームに必要事項を入力し「確認」をクリックします。

旧バージョンの申請を行う場合は、製品名に「その他」を選択し、すぐ右のボックスにバージョン番号を含む製品名を入力して下さい。

A screenshot of a web form titled "オーソライゼーションコード申請フォーム" (Authorization Code Application Form). The form contains several input fields: "お名前" (Name), "お名前 (かな)" (Name in kana), "E-Mail", "会社名" (Company Name), "会社名 (かな)" (Company Name in kana), "部署名" (Department Name), "〒" (Postal code), "ご住所" (Address), "TEL", "FAX", and "製品名" (Product Name) with a dropdown menu. Below these are fields for "シリアルナンバー" (Serial Number) and "ハードウェアロックID" (Hardware Lock ID), with a note: "※V23以降は数字5桁 旧製品は10桁 ※V23以降は空欄 旧製品は数字5桁". There are 10 numbered input fields for the serial number and hardware lock ID. A "確認" (Confirm) button is at the bottom.

⑨入力内容の確認画面が表示されますので、ご確認後「送信」をクリックします。

⑩送信完了画面を「閉じる」にて閉じます。

ご入力頂いたメールアドレスに確認メールが配信されます。

確認メールが届かない場合は、ご入力頂いたメールアドレスが間違っている可能性があります。

⑪ご登録頂きましたメールアドレスにオーソライゼーションコードが配信されます。

-----

コードの発行はご申請頂きましてから **1週間**のお時間を頂く場合がございます。

オーソライゼーションが完了するまでは、試用版（30日制限）として設計屋をご使用下さい。

-----

⑫コード受信後、設計屋を起動し「オーソライゼーション」ダイアログボックスを表示します。



⑬「オーソライゼーションコード」入力ボックスに、メールに記載されたオーソライゼーションコードを入力し「オーソライズ」をクリックします。

以上で製品の認証が完了しました。

認証情報は USB キーに書き込まれますので、他のコンピュータで設計屋をご使用頂く場合に、本 USB キーを接続して頂ければ再認証の必要はございません。

## テスミックシステムズ製品について

### ■ 製品のサポート

ヘルプに記載されていない内容や、障害に関するサポートにつきましては、原則として無償で行います（BricsCAD や他のソフトウェアに関する内容、OS に関する内容、ハードウェアに関する内容、および体験版についてのサポートは行っておりません）なお、設計屋の操作方法につきましては、有償サポートサービスを行っておりますので、弊社営業部までお問い合わせ下さい。

また、お問い合わせ頂く場合は、

- ・テスミックシステムズ製品のシリアルナンバー
- ・会社名

をお伝え頂けますようお願い申し上げます。

出張サポートにつきましては、いかなる場合におきましても技術料、出張に要する実費を申し受けます。

USB キー（ dongle ）の初期不良につきましては、ご購入後 1 年以内であれば、無償で交換させていただきます。

1 年経過後、またはお客様の不注意による破損の場合は**有償での交換**となります。

**紛失には対応致しかねますのでご注意ください。**

### ■ ユーザー登録

他のテスミックシステムズ製品をご利用頂いているお客様も、製品およびバージョンごとの製品認証申請が必要です。

製品をインストール後 30 日以内に製品認証申請を行って頂き、オーソライゼーションコードを取得、製品をオーソライズして下さい。

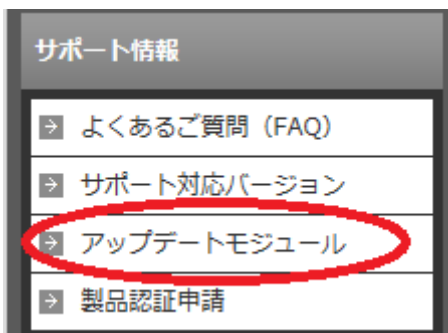
30 日を経過致しますと、オーソライズを行うまで製品が使用できなくなります。

## ■ 製品のアップデート

弊社ホームページにて、サポートバージョンに関する最新リビジョンへのアップデートプログラムをダウンロードすることができます。

URL : <https://www.tesmic.co.jp>

① 上記アドレスへアクセスして頂き「アップデートモジュール」リンクを選択します。



② 該当製品の「ダウンロード」項にてZIP ファイルをダウンロードします。

※環境により、ダウンロードしたファイルにセキュリティブロックの属性が付加される場合があります。ダウンロードしたファイルを右クリックより「プロパティ」にて「セキュリティ:このファイルは他のコンピューターから取得したものです・・・」が表示されている場合は「許可する」にチェックを入れ、セキュリティブロックを解除してください。

③ ダウンロードしたファイルを解凍します。

④ 解凍したフォルダ内「SkUpdate.exe」を管理者にて実行します。

⑤ OSの種類と製品のインストール先をご確認頂き「開始」をクリックします。

⑥ 確認メッセージが表示されます。

以上でアップデート完了です。

※製品のバージョンアップではありません。

※リビジョン番号はクイックタブメニュー右クリックより「バージョン情報」にてご確認ください。

## ご注意事項と仕様

### ■ 設計屋 標準管理での備考

設計屋 標準管理の「備考」をご使用頂く場合は、ファイルシステム「NTFS」をご使用下さい。

### ■ 設計屋のアンインストール

初回インストールの設計屋バージョン（その PC に初めてインストールを行った設計屋バージョン）をアンインストールすると、以降にインストールした設計屋の内部情報が削除され、起動しなくなります。誤ってアンインストールされた場合は、使用するバージョンの設計屋を上書きインストールして下さい。また、このような事態に備える為、「設定の書出」機能にて、設定をバックアップしておくことをお勧め致します。

## ■ 「ブロッカー一覧」コマンドの仕様

ブロックのプレビューに表示できる図形は以下の通りです。

- ・線分
- ・円／円弧
- ・楕円／楕円弧
- ・文字／マルチテキスト（四角の枠での表示です 内容は表示されません）
- ・ポリライン（2D・3D ポリライン含む）
- ・スプライン
- ・寸法（寸法値は四角の枠での表示です）
- ・ソリッド（2D 塗り潰し）

統合を行う際の比較対象図形は以下の通りです。

- ・線分
- ・円／円弧
- ・楕円／楕円弧
- ・放射線／構築線
- ・引出線
- ・ポリライン（2D・3D ポリラインは対象外）
- ・文字／マルチテキスト
- ・ハッチング
- ・点
- ・長さ／平行／半径／直径／角度／円弧長／座標 寸法

上記以外の図形は、配置数の比較は行いますが、プロパティでの比較は行わず、同一図形としての取り扱いとなります。

## ■ 「画層 View」 コマンドの仕様

画層のプレビューに表示できる図形は以下の通りです。

- ・ 線分
- ・ 円／円弧
- ・ 楕円／楕円弧
- ・ 文字／マルチテキスト（設定によっては正しいフォント表現はできません）
- ・ ポリライン（2D・3D ポリライン含む）
- ・ スプライン
- ・ 寸法（寸法値について、設定によっては正しいフォント表現はできません）
- ・ ソリッド（2D 塗り潰し）
- ・ ハッチング（パターン「SOLID」除く）

## ■ 設計屋 標準管理の仕様

下記動作には対応していません。

- ・ ダイアログ左側のツリー表示内での右クリックによるポップアップメニュー
- ・ ファイル及びフォルダのコピー&ペースト時の表示の更新  
（更新を行う場合は、ダイアログ右上の「最新情報に更新」ボタンを押して下さい）
- ・ ファイル一覧表示内での余白部分の右クリックによるポップアップメニュー表示
- ・ 右クリックによるポップアップメニューの「名前の変更」「ショートカットの作成」また、その他アプリケーションによるメニューの場合は、動作しない場合があります。



## ■ 「スーパーマルチ変形」コマンドの仕様

図形を再選択した場合「直前に戻る」動作がリセットされ、再選択前には戻れなくなります。

## ■ パスワード付き DWG に対する制限事項

以下のコマンドはパスワードの設定されたファイルを取り扱うことができません。

- ・連続図面出力
- ・図面形式連続変換
- ・ファイル変換ユーティリティの連続変換
- ・名前削除の複数図面に実行

## ■ Windows エクスプローラに対する制限事項

Windows エクスプローラの「ライブラリ」「ホームグループ」フォルダは、設計屋 標準管理からは使用できません。

図面の保管は他のフォルダをご利用下さい。

## ■ 「溶接記号」コマンドの仕様

設計屋で作成される溶接記号は、ドラッグドロップによる図面間コピーを行わないで下さい。  
内部情報が保持できず正しく動作しない場合があります。

## ネットワークライセンスのセットアップ

スタンドアロン版をご使用の場合は、以降の作業は不要です。

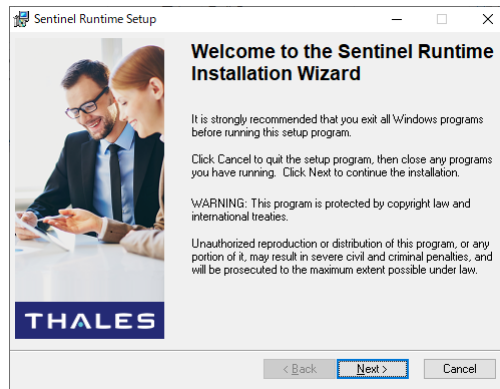
## ドライバのインストールと USB キーの接続

### ■ USB キードライバのインストール

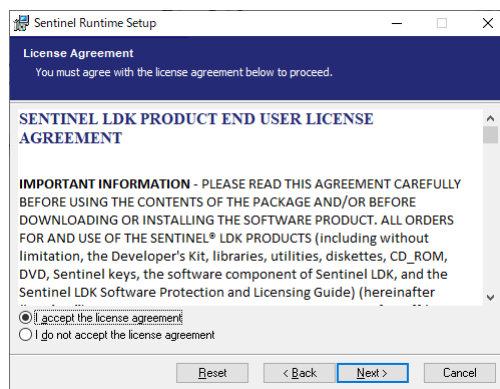
※USB キーはコンピュータに接続せず作業を行って下さい。

※環境により、ドライバインストール後に再起動が必要になる場合があります。

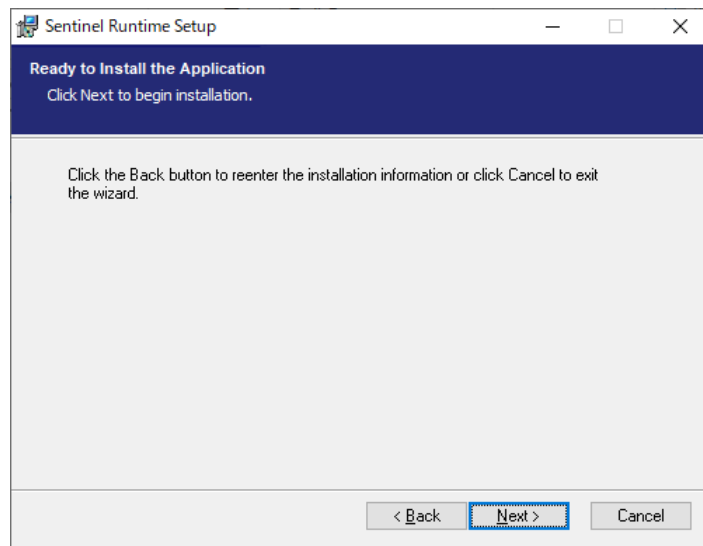
- ① ライセンスサーバーに設計屋システム CD をセットし、自動起動はキャンセルして下さい。
- ② CD の「Server」フォルダ内「HASPUserSetup.exe」を実行します。
- ③ 「Welcome to the～」ダイアログボックスが表示されます。  
「Next」をクリックします。



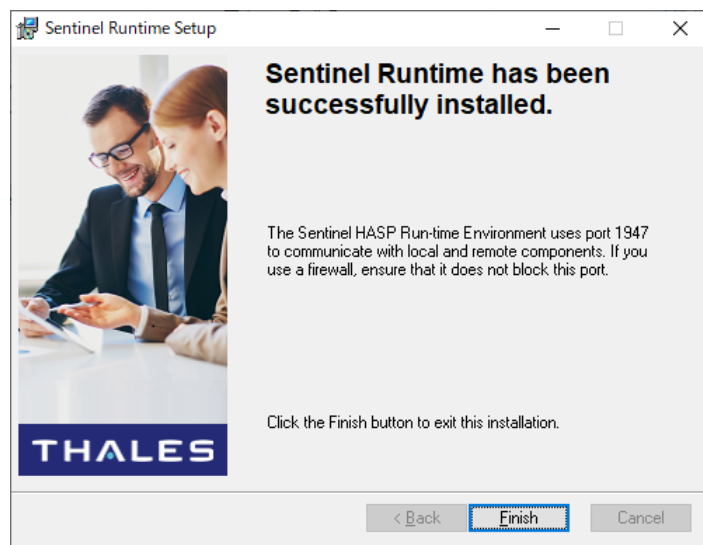
- ④ 「License Agreement」ダイアログボックスが表示されます。  
「I accept～」を選択し「Next」をクリックします。



- ⑤ 「Ready to Install the Application」 ダイアログボックスが表示されます。  
「Next」 をクリックします。



- ⑥ 「Sentinel Runtime has been～」 ダイアログボックスが表示されます。  
「Finish」 をクリックします。  
以上でドライバのセットアップは完了です。



## ■ USB キーの接続

- ・ USB キーをサーバーコンピュータに接続します。

※ハブなどは使用せず、直接本体に接続して下さい。

## クライアント端末の設定

### ■ 設計屋のインストール

「アプリケーションのインストール」項をご参照頂き、クライアント端末に設計屋のインストールを完了してください。

### ■ サーバー情報の入力

- ①エクスプローラにて設計屋インストールフォルダ（既定は C:\¥BskVxx）を開きます。
- ②フォルダ内「LdkNetSettings.exe」を実行します。



- ③「マシン名」にサーバーのコンピュータ名もしくは IP アドレス、「シリアル番号」に USB キー貼付のシリアル番号（5桁の数字）を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

以上でサーバー情報の入力は完了です。

情報を削除する場合はマシン名、シリアル番号ともに空欄で登録ボタンをクリックしてください。

※サーバー情報の入力はバージョン毎に設定する必要があります。バージョンアップの際は、そのバージョンのフォルダに保存された「LdkNetSettings.exe」にてサーバー情報を入力してください。

### ■ 設計屋の起動

クライアント端末で設計屋を起動し、製品版（30日の期限なし）で起動することをご確認下さい。体験版などで起動してしまう場合は、サーバーおよびクライアント端末の再起動をお試し下さい。

## ライセンスの管理

### ■ Sentinel Admin Control Center

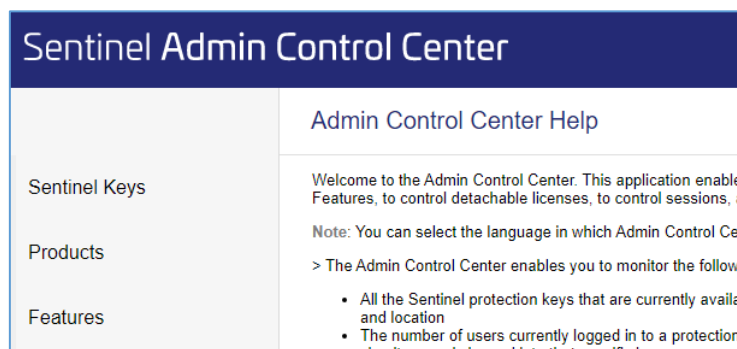
ライセンスの使用状況の確認や、ライセンスのアップデート（バージョンアップやライセンス数の変更）には、Sentinel Admin Control Center（以下「ACC」）を使用します。

ACCの起動にはインターネットブラウザを使用します。

※Internet Explorer では正常に動作しない場合がございます。Microsoft Edge もしくは Google Chrome をご使用ください。

### ■ ACCの起動方法

- ① インターネットブラウザを起動します。
- ② アドレス欄に「localhost:1947」と入力、確定します。
- ③ ACCトップページが表示されます。

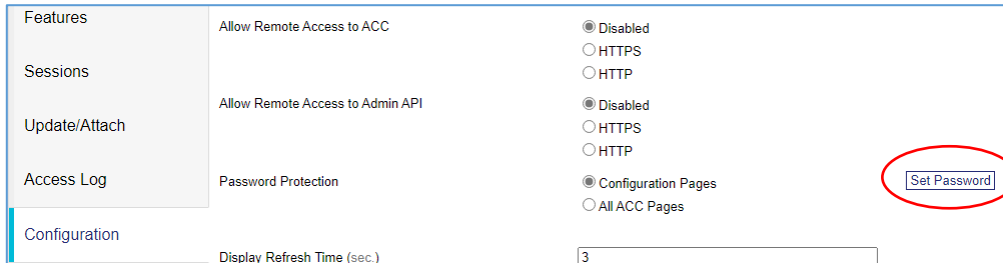


## ■ ACC のパスワード設定

必須ではありませんが、ACC の設定画面にアクセスするためのパスワードを設定することができます。

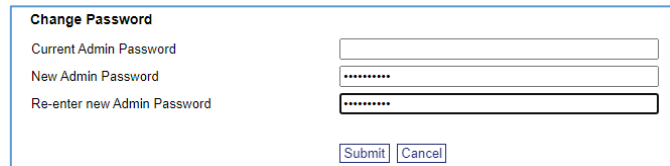
※ユーザ名は「admin」固定です。

- ① ACC を起動します。
- ② 「Configuration」 オプションを選択します。
- ③ 「PassWord Protection」 項の「Set Password」 ボタンをクリックします。



The screenshot shows the ACC configuration interface. On the left is a sidebar with menu items: Features, Sessions, Update/Attach, Access Log, and Configuration (highlighted). The main area is divided into sections: 'Allow Remote Access to ACC' with radio buttons for Disabled, HTTPS, and HTTP; 'Allow Remote Access to Admin API' with radio buttons for Disabled, HTTPS, and HTTP; 'Password Protection' with radio buttons for Configuration Pages and All ACC Pages; and 'Display Refresh Time (sec.)' with a text input field containing '3'. A red circle highlights the 'Set Password' button located to the right of the 'Password Protection' section.

- ④ 「Current Admin Password」 に現在のパスワード（初期は空欄）、「New Admin Password」 に新しいパスワード、「Re-enter new Admin Password」 に再度新しいパスワードを入力し、「Submit」 ボタンをクリックします。



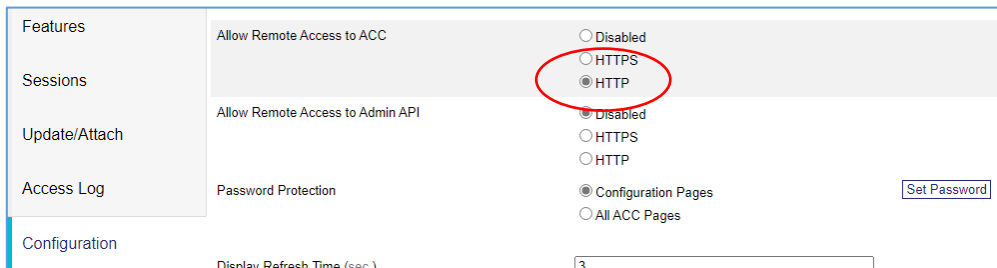
The screenshot shows the 'Change Password' form. It has three input fields: 'Current Admin Password' (empty), 'New Admin Password' (filled with asterisks), and 'Re-enter new Admin Password' (filled with asterisks). Below the fields are 'Submit' and 'Cancel' buttons.

## ■ ACC ページの公開

LAN 内で ACC ページを公開する場合は以下設定を行います。

※公開にはパスワード設定が必要です。上記 ACC のパスワード設定を完了しておいてください。

- ① ACC を起動します。
- ② 「Configuration」 オプションを選択します。
- ③ 「Basic Settings」 タブを選択します。
- ④ 「Allow Remote Access to ACC」 項を「HTTPS」もしくは「HTTP」に変更します。



The screenshot shows the ACC configuration interface, similar to the previous one. In the 'Allow Remote Access to ACC' section, the 'HTTP' radio button is selected and circled in red. The 'Set Password' button is also visible to the right.

- ⑤ 画面下部「Submit」 ボタンをクリックします。

設定完了後、LAN 内のクライアント PC より「http://[サーバー名]:1947」で ACC にアクセスすることができます。

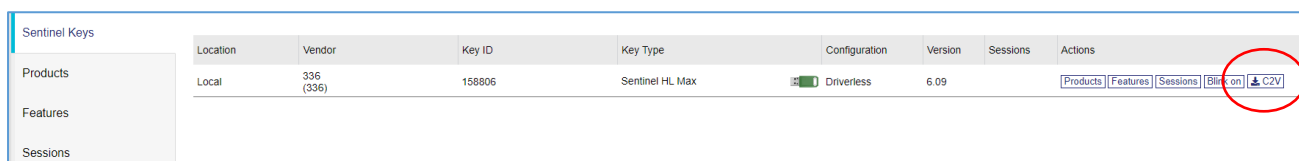
## ■ ライセンスのアップデート

ライセンス数の変更や、設計屋のバージョンアップを行う場合は、テスミックシステムズ株式会社（以下「テスミック」）に「C2V」ファイルを送付します。

C2V の情報更新後、テスミックより「V2C」ファイルが返送されますので、V2C ファイルを使用し、ライセンスをアップデートします。

<C2V ファイルの作成方法>

- ① ACC を起動します。
- ② 「Sentinel Keys」 オプションを選択します。
- ③ 「Key Type」 が「Sentinel HL Max」の行の「Actions」列にて「C2V」ボタンをクリックします。



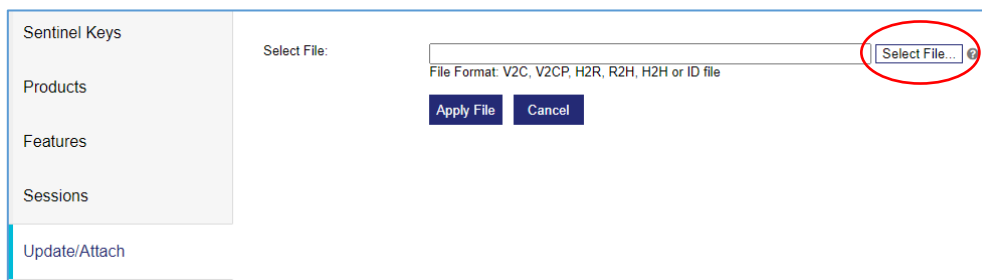
- ④ 「ダウンロード」フォルダに「xxx.c2v」ファイルが作成されます。
- ⑤ 作成されたファイルをテスミックのサポートグループまでメールにてお送りください。

**テスミックシステムズ(株)サポートグループ : support@tesmic.co.jp**

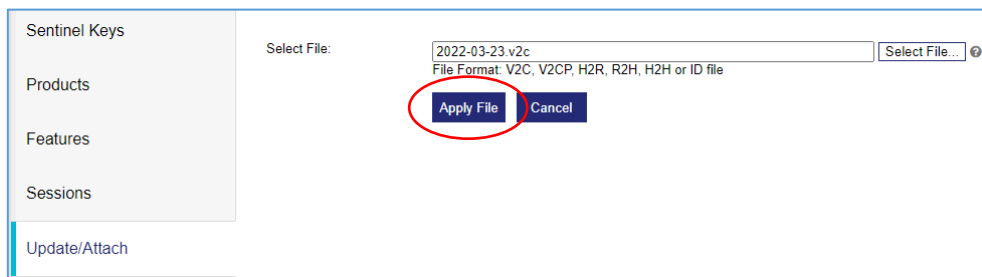
<V2C ファイルの適用方法>

アップデートはライセンスが使用されていない状態で行ってください。

- ① ACC を起動します。
- ② 「Update/Attach」オプションを選択します。
- ③ 「Select File」ボタンをクリックします。



- ④ テスミックより送付された「xxx.v2c」ファイルを選択します。
- ⑤ 「Apply File」ボタンをクリックします。



以上でライセンスのアップデートは完了です。ライセンス数や設計屋のバージョンをご確認ください。

## ■ 設計屋のバージョンについて

ACC では、設計屋のバージョンを 5 桁のフィーチャ番号で確認します。

フィーチャ番号 = 138xx (xx はバージョン番号 2 桁、138 は固定値です)

※例：Brics 設計屋 V23 であれば、「13823」がフィーチャ番号となります。

## ■ ライセンス使用状況の確認

① ACC を起動します。

② 「Features」オプションを選択します。

③ 使用状況を確認する「Feature」番号行の「Logins」列が現在消費されているライセンス数です。

※「Concurrency」列が使用可能ライセンス数です。

※「Sessions」列は「起動しているアプリケーション数」です。同じ PC で設計屋アプリケーションを複数起動している場合に増加しますが、消費ライセンス数ではありません。

Feature	Location	Access	Counting	Logins	Concurrency	Detached	Restrictions	Sessions	Actions
0	Local	Loc Net Display	Station		*		Perpetual		Sessions
12900	Local	Loc Display	Station		*		Perpetual		Sessions
13823	Local	Loc Net Display	Station	1	2		Perpetual	3	Sessions

上図の場合、

Feature 「13823」の行が Brics 設計屋 V23 のライセンスに関する情報となります。

Concurrency が「2」ですので、2 台まで Brics 設計屋 V23 を使用することができます。

Logins が「1」ですので 1 台の PC で実行中です。(ライセンスを「1」消費しています)

Sessions が「3」ですが、1 つの PC で 3 つの Brics 設計屋 V23 が起動されている状態ですが、1 台の PC で使用していますので消費ライセンスは「1」です。